

災害の種類ごとの避難行動

災害から命を守るためには、身近にどんな危険があるのかを理解し、災害時にどのような避難行動をとればよいか日頃から考えておくことが大切です。避難行動は、災害の種類・状況や自分の居場所によってさまざまです。

●地震（津波）



沿岸部で強い揺れまたは長時間のゆっくりとした揺れを感じたら、津波警報や市町村の避難指示を待たず、自主的かつ速やかに避難しましょう。

●水害



夜に大雨が予想されているときは、夕方までに避難しましょう。外に避難する場合は、川や用水路に近づかない、冠水している道は極力通らないようにしましょう。外に避難するのが危険な場合は、建物の高い場所に避難しましょう。避難ルートが安全かどうか、あらかじめハザードマップで確認しておきましょう。

●土砂災害



大雨警報や土砂災害警戒情報が発表された際は、早めに避難しましょう。避難が困難なときは、近くの頑丈な建物の2階以上に緊急避難したり、家の中で崖から離れた部屋や2階など、少しでも安全な場所に移動しましょう。



避難勧告が出てても特に何も起きないこともあるよわ



急いで避難する必要はあるのかしら？

それは間違いだぞ！
早めに避難することで命を守るのだ！

水から大王

ハザードマップを確認しましょう

いざという時に円滑に避難できるよう、日頃からハザードマップを確認して、自宅や職場・学校周辺などの災害リスクや、避難場所、経路などを把握しましょう。

国土交通省ハザードマップポータルサイト

全国の防災に役立つ情報を閲覧できるポータルサイトを公開しています。



●重ねるハザードマップ

浸水の恐れがある場所や土砂災害の危険がある場所など、防災に役立つ情報を地図に重ねて表示できるハザードマップです。指定した地点の自然災害リスクをまとめて調べることもできます。



▲洪水浸水想定区域を地図に重ねて表示

▲自然災害リスクを一括表示

●わがまちハザードマップ

各市町村が作成したハザードマップを、地図や災害種別から簡単に検索し表示することができます。



▲市町村名をクリックするとハザードマップの一覧が表示される

▲市町村が作成したハザードマップを表示

静岡地域・志太榛原地域
大規模氾濫減災協議会

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/gensai/index.html>



[ver.2019.01]

「知る」ことで
命を守る。



災害から自分の命を守るためには、災害に対する心構えや知識、備えが重要です。



これらも災害への備えです。

1

情報を入手する方法を知ること

2

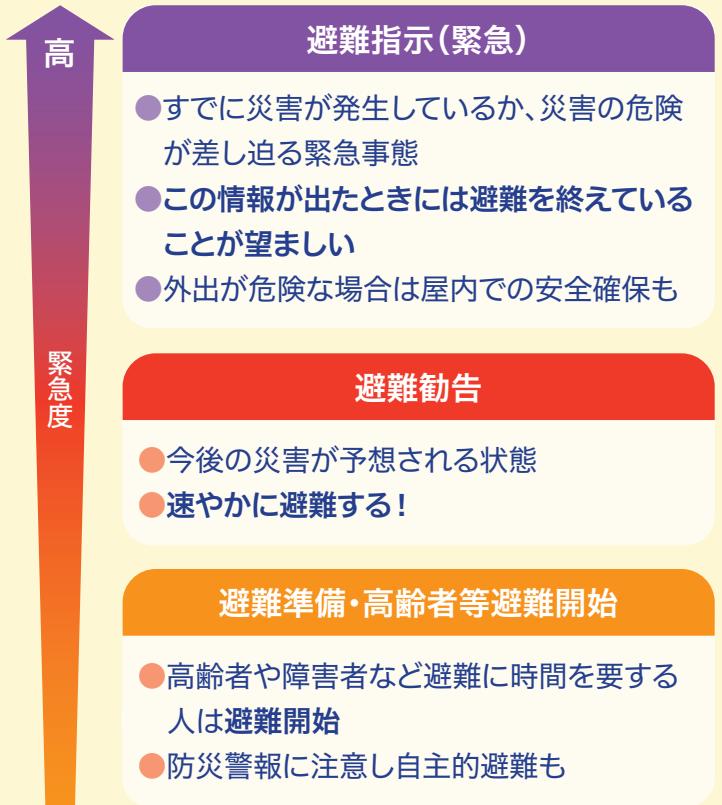
ハザードマップで避難場所や避難ルートを確認すること

3

避難情報の内容と対応を知ること

避難情報は自治体が発令します

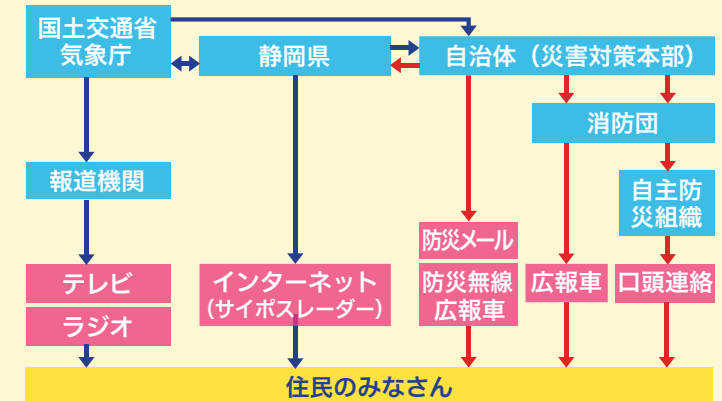
災害の発生が差し迫り、避難が必要になった場合には、自治体より **避難指示（緊急）**、**避難勧告**、**避難準備・高齢者等避難開始** の情報が発令されます。



避難のための情報入手

発令された避難情報は、テレビ・ラジオ放送、緊急速報メール、自治体の防災無線・防災メール、役所・消防団の広報車、自主防災組織の口頭連絡などによりみなさんに伝えられます。

●情報の伝達系統図

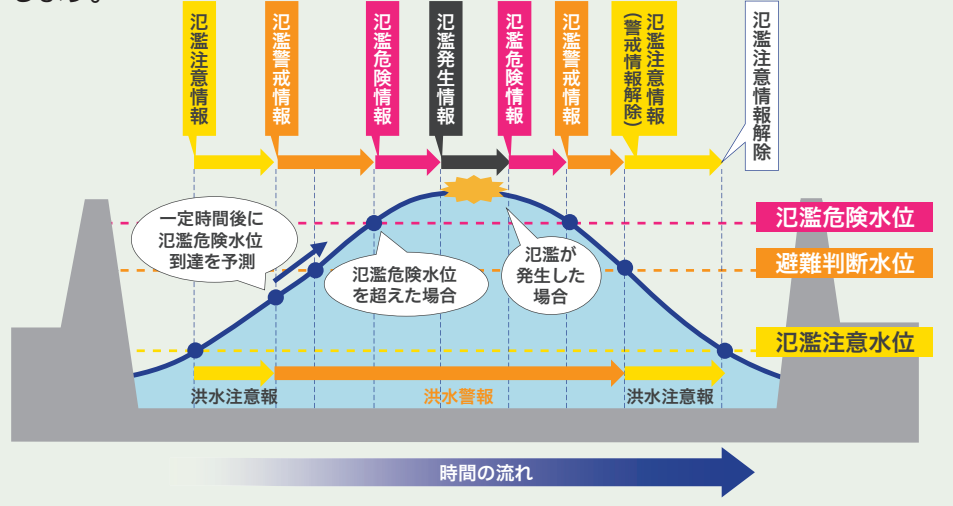
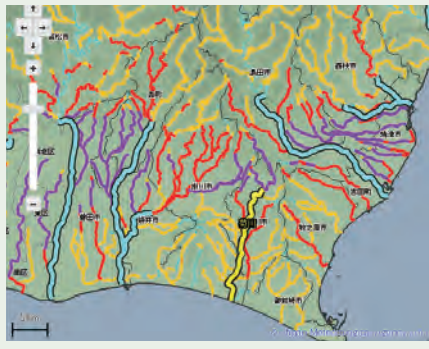


災害から身を守るために、最新の気象情報・災害情報を確認するように心がけましょう。携帯電話、パソコン、テレビを利用して、防災に関する情報を確認しましょう。

気象庁（地方气象台）が提供する情報

● 洪水の情報…指定河川洪水予報・洪水警報の危険度分布

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生じる河川(指定河川)について、洪水の恐れがあると認められたときに、河川氾濫の注意・警戒・危険・発生の情報を気象庁と国、県が共同で発表します。また、地図上に洪水害の危険度を5段階で色分け表示した洪水警報の危険度分布を公開します。



指定河川洪水予報

洪水警報の危険度分布

指定河川洪水予報

国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水の恐れがあると認められるときに発表。

高	氾濫発生情報
危険	氾濫危険情報（「避難勧告」相当）
度	氾濫警戒情報（「避難準備・高齢者等避難開始」相当）
低	氾濫注意情報
	発表なし

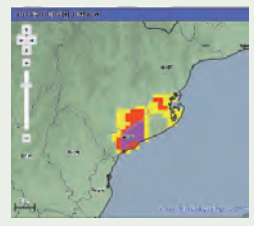
洪水警報の危険度分布

高	極めて危険
危険	非常に危険（氾濫注意水位等を超えていれば「避難勧告」相当）
度	警戒（水防団待機水位等を超えていれば「避難準備・高齢者等避難開始」相当）
低	注意
	今後の情報等に留意

▲気象庁HPより引用、書き起こし

● 大雨の情報…大雨警報（浸水害）の危険度分布

大雨警報(浸水害)等が発表されたときに、地図上に5段階で色分け表示した大雨警報(浸水害)の危険度分布を気象庁が公開します。



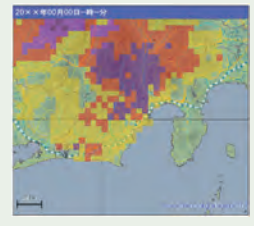
色が持つ意味

極めて危険	警報基準の一段上の基準にすでに到達
非常に危険	1時間先までに警報基準の一段上の基準に到達すると予想
警戒(警報級)	1時間先までに警報基準に到達すると予想
注意(注意報級)	1時間先までに注意報基準に到達すると予想
今後の情報に留意	

大雨警報(浸水害)の危険度分布

● 土砂災害の情報…土砂災害警戒情報・土砂災害警戒判定メッシュ情報

大雨警報が発表されている状況で、土砂災害の危険度が非常に高まった市町を特定して、气象台と静岡県が共同して発表する警戒情報です。気象庁HPでは、2時間先までの土砂災害の危険度を5キロメートルメッシュ毎に階級表示した土砂災害警戒判定メッシュ情報を公開します。



色が持つ意味

極めて危険	すでに土砂災害警戒情報の基準に到達
非常に危険	2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想
警戒(警報級)	2時間先までに警戒基準に到達すると予想
注意(注意報級)	2時間先までに注意報基準に到達すると予想
今後の情報に留意	

避難情報

避難準備・高齢者等避難開始	
---------------	--

土砂災害警戒情報

土砂災害警戒判定メッシュ情報

静岡県が提供する情報

● 県内の防災気象情報…サイポスレーダー

静岡県内の雨量・県管理の河川水位などの観測情報のほか、アメダスなどの気象情報、注意報・警報などの防災情報も提供しています。

- サイポスレーダートップページ
- 気象警報・注意報
- 静岡県内の雨量情報

サイポスレーダー

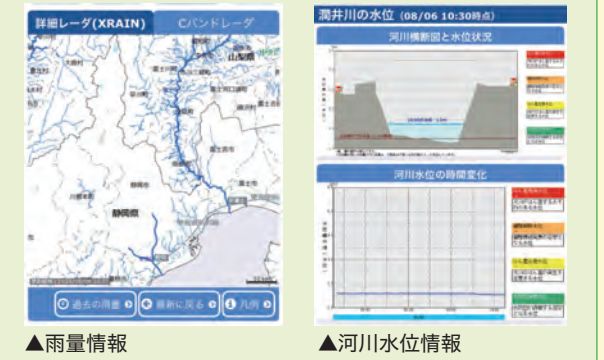


国土交通省または自治体が提供する情報

● 現在地の防災情報…川の防災情報

スマートフォンのGPS機能を活かして現在地の防災情報を確認することができます。国土交通省が提供する防災情報サイトで、全国の国が管理する河川を中心に、雨量・水位などのリアルタイム情報、河川監視カメラの画像を提供しています。

川の防災情報



● 緊急速報メールを活用した洪水情報のプッシュ型配信と自治体からの防災メール

■ 国土交通省が提供する情報

国土交通省では、国が管理する河川全109水系を対象として、緊急速報メールを活用した洪水情報(河川氾濫のおそれがある(氾濫危険水位に到達した)情報及び河川氾濫が発生した情報)のプッシュ型配信を行っています。

■ 自治体が提供する情報

一部の自治体では、あらかじめパソコンや携帯電話のメールアドレスを登録しておくことで、気象や防災、防犯に関する情報をメールで受け取ることが出来る住民向け防災情報提供サービスを提供しています。



▲洪水情報のプッシュ型配信(※)と自治体からの防災メールイメージ
※プッシュ型配信とは、受信者側が要求しなくても発信者側から情報が配信される仕組みです。

地上デジタルテレビ放送が提供する情報

● テレビリモコンのdボタンを押して、より身近に情報を入手!

地上デジタルテレビ放送のデータ放送で河川や気象の情報が閲覧できます。リモコンのdボタンを押し、上下左右ボタンでメニューを選択することで、地域の河川の水位情報や雨量の情報が表示されます。詳しい閲覧方法は下のリンクをご覧ください。

■ 地上デジタル放送による河川情報の提供について(国土交通省)

